

# 森林経営管理リーダー育成研修の開催

- 林野庁では、森林経営管理制度の運用に当たって、市町村への支援を担う人材となる「森林経営管理リーダー」を育成するため、主に都道府県の地方機関や市町村支援組織の職員を対象に、全国6箇所で開催します。
- 森林経営管理制度の進め方や市町村における森林・林業行政に関する講義、所有者探索演習、地域課題解決に向けたグループワーク、市町村講師による先進事例の紹介等を通じて、実践的人材を育成します。
- 令和元年度の研修開始から、令和5年度までに延べ788人が受講しています。

## 森林経営管理制度の進め方の解説

林野庁講師が全国の先進事例を参考にしながら、制度の進め方、所有者不明森林への対応を解説

### <主な解説事項>

- 全国の取組状況、事例の紹介
- 森林・林業行政における市町村の役割
- 所有者不明森林の所有者探索の手法
- 所有者不明森林等の特例措置活用方法
- 森林境界明確化の取組手法 等

## 所有者探索の演習、地域課題の意見交換

- 所有者不明森林に係る探索について、相続関係説明図の作成のワークショップを実施
- 各地域における森林経営管理制度の取組状況、工夫点、課題解決手法について、グループで議論・発表

←相続関係説明図作成の演習

↓グループで議論・発表  
(写真はイメージ)



## 市町村における森林・林業行政を解説

「森林経営管理リーダー」が、市町村に対する指導・支援を行うための参考として、市町村における森林・林業行政、ビジョン作成の重要性について解説

### <主な解説事項>

- 海外の事例
- 市町村森林行政に求められていること
- 市町村森林行政担当者の現状
- 市町村における森林ビジョン
- フォレスターの役割 等

## 市町村等の講師による先進事例の紹介

先進的な市町村の講師から、森林経営管理制度の取組方針の作成による制度の取組やリモセンデータを活用した森林境界の明確化の取組のポイント・アイデアを学ぶ

### <先進市町村の様々な取組ポイント(例)>

- 配分計画に基づく主伐・再造林の取組
- 共有者不明森林の特例措置の活用
- 効率的な意向調査の実施
- 航空レーザ計測データの活用した所有者説明会の実施
- 協議会における取組方針決定 等

## 森林経営管理リーダー育成研修の開催について

### 1 研修の目的

森林経営管理制度の円滑な運用に向け、市町村に対して技術的な指導・助言等の支援を行う都道府県職員等（森林経営管理リーダー）を養成・確保すること。

### 2 開催地及び日程

#### (1) 開催地

福島県、新潟県、山梨県、滋賀県、岡山県、福岡県、計6会場

※開催場所は、県庁所在地等の主要駅付近で検討致します。決定次第、別途ご案内します。

#### (2) 日程案

都道府県	日程		
山梨県	7月9日(火)	～	7月11日(木)
福島県	8月6日(火)	～	8月8日(木)
新潟県	9月3日(火)	～	9月5日(木)
滋賀県	10月1日(火)	～	10月3日(木)
岡山県	10月29日(火)	～	10月31日(木)
福岡県	11月19日(火)	～	11月21日(木)

※会場確保の関係で、日程は変更となる場合がありますのでご了承ください。

※本研修は、3日間を通じて連関する内容となっています。参加にあたっては、2泊3日の全日コースを受講願います。

### 3 研修の内容

別紙のとおり

### 4 受講の留意事項

#### (1) 対象者

- ・都道府県の森林経営管理制度、森林計画制度の担当職員、林業普及指導員等
- ・市町村の林務担当職員
- ・森林経営管理制度等に関し、市町村支援に取り組む団体（森林組合連合会、林

業公社、地域協議会等)の担当職員  
・森林管理局・署等の民国連携担当職員

※森林経営管理制度に関連する業務を担当されている方は幅広く受講できます。  
過年度に受講された方も、再度受講できますので、積極的な受講をお願いします。

(2) 募集人員・受講会場

各会場 35名(計 210名)を目途に募集します。  
近隣の会場に限らず、他地域の会場でも受講できます。

(3) 受講準備

研修の受講に当たり、事前課題を提出していただきます。  
別途、受講者に対し、研修事務局を通じて依頼します。(制度の取組状況と課題  
について、A4・1枚にまとめていただく想定です。)

(4) 受講申込

研修生の募集は、都道府県を通じて行っておりますので、参加ご希望の方は、各  
都道府県へご連絡願います。

以上

別紙

森林経営管理リーダー育成研修の内容

(1) タイムテーブル

1 日目	2 日目	3 日目
—	C 講師（森林総研）（120） 9:00～11:00 ・仮題(市町村における森林・ 林業行政とフォレスター)	H 講師（県、市町村、事業体） （50） 9:00～9:50 ・森林経営管理制度取組事例 報告（40） ・質疑応答（10）
	D 講師（県、市町村、事業体） （60） 11:10～12:10 ・林野庁講義（10） ・境界明確化取組事例報 告（40） ・質疑応答（10）	I 受講生同士の意見交換② （140） 10:00～12:20 ・課題に対する対応策の検討 （50） ・グループ発表（80） ・林野庁講評、総括（10）
	○昼休憩（60）12:10～13:10 ○森林保険の説明（10） 13:10-13:20	○アンケート記入（10） 12:20～12:30
A 全体説明、林野庁講義（120） 13:30～15:30 ・制度の概要、取組状況（45） ・制度の進め方、取組事例報告 （20） ・譲与税の活用状況（30） ・市町村の役割（15）	E 林野庁講義（60） 13:20～14:20 ・所有者不明森林の概要（30） ・所有者探索の基本（30） F 外部講師（ワークショップ） （130） 14:30～16:40 ・導入講義（30） ・探索ワークショップ（100）	—
B 受講生同士の意見交換① （120） 15:40～17:40 ・説明（10） ・グループ内で取組状況の共 有（30） ・事例や課題の整理（40） ・グループ発表（40）	G 林野庁講義（50） 16:50～17:40 ・特例措置について（40） ・国の施策の動向（10）	

※基本的に全ブロック統一のカリキュラムで実施しますが、受講生の傾向も踏まえ、一部内容を変更する場合があります。

## (2) 各コマの概要

### 1日目

#### A 全体説明、林野庁講義

森林経営管理制度の概要や取組状況、全国の事例紹介を含め制度の全体の流れについて解説します。

また、森林環境譲与税の活用状況や森林・林業行政における市町村の役割についても解説します。

#### B 受講生同士の意見交換①

事前課題をもとに、グループ内の各自治体の制度の取組状況を共有後、事例や課題の整理をすることにより受講生同士の意見交換を実施します。

### 2日目

#### C 森林総研講義

「森林経営管理リーダー」が、市町村に対する指導・支援を行うための参考として、市町村における森林・林業行政、森林・林業に係るビジョン作成の重要性について、長年の研究成果による科学的知見に基づき、森林総合研究所の研究者から解説いただきます。

#### D 県、市町村、事業体職員講義（境界明確化）

林野庁から森林境界の明確化の取組手法について解説した後、研修会場の近隣で、森林境界の明確化に積極的に取り組んでいる県、市町村、事業体の実務担当者をお招きし、リモートセンシングデータを活用した境界明確化の取組などについて報告いただきます。

#### E、G 林野庁講義

森林経営管理制度の対象とした森林について、森林所有者が不明であった場合の所有者探索の流れ及び手法について解説します。

また、所有者不明森林等の特例措置の活用方法や所有者不明土地対策に係る国の施策の動向等についても解説します。

#### F ワークショップ

林野庁講義の内容を踏まえ、所有者不明森林について、住民票・除票、戸籍・除籍謄本、改正原戸籍、戸籍の附票・除附票を用いて所有者を探索し、相続関係説明図を作成する演習を実施します。

### 3日目

#### H 県、市町村、事業体職員講義（森林経営管理制度）

研修会場の近隣で、森林・林業に係るビジョンや森林経営管理制度の取組方針などを作成し、森林経営管理制度に積極的に取り組んでいる県、市町村、事業体の実務担当者をお招きし、取組の内容などについて報告いただきます。

#### I 受講生同士の意見交換②

2日目の講義を通じ、1日目に掲げた課題をどのように解決していくか検討し、各グ

ループの対応方針を発表するとともに、他のグループとの意見交換を実施します。